

第 23 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA オンラインアジア大会(動画審査) 総評 小学 1・2年生部門

●審査員 A

ピアノを弾くと様々な気分や感情を表現することができ、音楽は多くの喜びをもたらします。一曲一曲が一つの物語のようです。自分の語りをより興味深いものとするために、できるだけ様々な語調（抑揚、イントネーション）を探してみてください。問いと答え、感嘆詞、呼吸、掛留音など、人間の話し方が、その最たるものです。音楽も、私たちを取り巻く世界のように色とりどりになるよう、ぜひ、異なる調性の多彩な色を感じてみてください。音楽の豊かさ、美しさを見つけ、幸せな気持ちになることを祈っています。

●審査員 B

第 23 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会に参加された皆様、おめでとうございます。昨年同様、すべての演奏を楽しく聴かせていただきました。子どもたちのためにプロの録音セッションの手配や動画審査の準備をされた先生方や保護者の方々のご努力に感謝いたします。若いピアニストの皆さんは素晴らしい音楽性と、特にレガート奏法とフレージングにおいて非常に優れたピアノテクニックの基礎をお持ちだということが良く分かりました。曲目も演奏者の年齢を考慮し、よく選ばれていました。

ここにいくつかの重要な課題をお伝えいたします。

- ・楽器に向かう体の姿勢：特に初歩の段階では常に正しい姿勢でなければなりません。
- ・リズムの練習：この年代は過度なテンポやリズムの変化を避け、特にダンス形式においては拍を正しく感じて弾くことを学びましょう。
- ・ペダリング：ピアニストは何年もかけてペダリングを上達させます。初歩の段階ではペダルをいさぎず、ペダルなしでも練習し、異なるスタイル、性格、アーティキュレーションに対応したペダルを適度に踏めるようにしていきましょう。

皆さんこれからがんばってください。次回のコンクールでお会いできることを楽しみにしています。

●審査員 C

参加者の皆さんの努力と成功を祝福したいと思います。また、先生方、保護者の皆様も、その素晴らしい仕事ぶりと献身的な努力に対して、お祝い申し上げます。

アジア大会まで進出されたこと自体、大きな成果であることは間違いありません。まだ若い子どもたちの演奏に、採点し順位を決めることはとても難しいことです。皆さん全員が、音楽に興味を持ち、ピアノを弾き、聴き、学び、練習してきたのですから、表彰されてしかるべきでしょう。演奏の全般的なレベルが非常に高く、ピアニスティックな能力も本当に素晴らしかったです。

ピアノに向かうときや練習するときの最も重要な心構えを挙げるとすれば、まず「聴く」ことです。常に自分の音に耳を傾け、「心の耳」を発達させましょう。音を弾く前に（心の耳で）聴き、その後、音がつながっているか、また自分が本当に意図したキャラクターを作れているかなど、弾いた音の質を聴きましょう。音楽や芸術とのふれあいを楽しむ素敵な時間をたくさん作ってくださいね。

●審査員 D

皆さんそれぞれが自分の良さを出し、素晴らしい演奏をしていました。これからも、先ず自然に演奏することを心がけて、楽しい気持ちでピアノの勉強を続けてください。そして、ピアノからいろいろな音色を引き出すために、オーケストラの曲、オペラ、室内楽などいろいろな種類の音楽を沢山聴いて、豊かなイメージを心の中に育ててください。

●審査員 E

全体的に、とてもよく弾けていると思います。低学年ですので、やはり、今後は基礎的なことをしっかりお勉強されたら良いかと思います。例えば、拍子を感じる事。バランスに注意すること。フレーズを長く感じて、ブレスを取ること。テンポが不安定にならないように。付点のリズムを正確に弾くこと。

●審査員 F

小さい方達とは思えない、大人のような熱演でとても楽しく聴かせていただきました。オンラインの工夫も感じ取れました（録音も良く）。又、ホールよりも手の形をしっかりと見る事ができ、皆さんしっかりと基本を身につけていらっしゃる、将来に期待できる方ばかりでした。その中でも大変自発的に表現されている音楽性豊かな方々には心から感動いたしました。ありがとうございました。